

本省係員



1 | 新規入省者 (R7年入省)

Q1.入省を目指したきっかけは？

農業・農村の振興に貢献したい！

- 大学・大学院で学んだ農業工学の知識を活かしたいと思ったからです。
- 国家公務員として、政策の企画立案やスケールの大きな仕事に挑戦してみたいと考えたからです。
- 日本特有の美しい農村風景を守り、次世代につなげていきたいと思ったからです。
- 農業農村整備は、持続可能な農業を実現するための大切な基盤づくりと感じ、そこに携わりたいと考えたからです。

Q2.1年目の業務内容は？

国会対応や予算要求など、本省ならではの業務に携わります！

- 要請活動や議員からの依頼事項に対する回答メモの作成、担当事業の要綱・要領の改正作業等を行っています。
- 担当する事業の進捗状況等の取りまとめや、各農政局との調整窓口を担当しています。
- 国営かんがい排水事業の制度運用に関する業務や執務参考資料の作成を行っています。
- データ整理や会議の議事録作成、関係者への連絡なども行っています。

Q3.職場の雰囲気は？

- 相談しやすく、居心地の良い職場だと思います。
- 仕事熱心で尊敬できる上司や先輩から、丁寧に指導していただきながら、安心して業務に取り組むことができます。
- ちょっとした雑談も交えながら、周囲と気軽に意見交換ができる和やかな雰囲気です。

Q4.仕事の魅力・やりがいは？

政策を通じて、国民の皆さんの生活に貢献できます！

- 農業農村整備事業の方針決定など、スケールの大きな業務に携わることができる点に魅力を感じます。
- 日々の業務を通じて専門的な知識を学ぶ機会があり、技術者として成長していることを実感できます。
- 本省にしながら全国の現場に出張に行く機会が多く、各地の状況を直接把握することができます。

Q5.入省前後で感じたギャップは？

- 定時で帰れることが多いです。
- 1年目から意見を求められることが多いです。
- 懇親会などで他課の人との交流があったことです。
- 研修が充実していて驚きました。他省庁の同期とも意見交換や親睦を深める機会がたくさんあります。

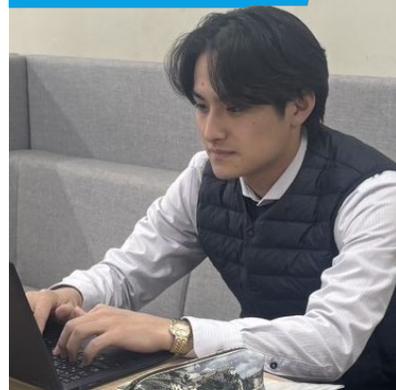
Q6.現在はどんな住宅に住んでいる？

- 農水省の独身寮に住んでいます。家賃がとても安いです。同期も同じ寮に住んでいます。
- 民間のアパートです。少し遠いですが、慣れると快適です。

Q7.週末の過ごし方は？

- 同期や研修で仲良くなった他省庁の友人と、季節ごとのイベント（花火や紅葉狩りなど）を楽しんでいました。
- 寮の同期と飲み会や買い物に行きます。ディズニーランドにも行きました。
- 夏季休暇や有休を利用して長めに実家へ帰省することもあります。

本省係員



1 **川口 泰世**
(R7入省)
整備部 農地資源課

仕事の内容・役割、やりがい

農地の大区画化・汎用化は、農業者の減少・高齢化が急速に進む中で、担い手への農地の集積・集約化を進め、生産性向上を通じて持続可能な農業を支える重要な取組です。

私は、国直轄の大規模な農地整備事業を担当し、そのスケールの大きさと地域の期待を実感しながら業務に取り組んでいます。大学時代は農業農村工学を専攻していませんでしたが、体系的な研修や上司・先輩に相談しやすい職場環境のおかげで着実に理解を深め、今では成長とやりがいを感じています。

週末の過ごし方

同期と飲みに行ったり旅行をしたり、友人とゴルフや富士登山に挑戦したりと、プライベートもアクティブに過ごしています。土日は基本的に休みなもので予定も立てやすく、今年には国内旅行にもたくさん行きました。時にはゆっくりと過ごす日もあり、仕事とプライベートのバランスを大切にしながら充実した日々を送っています。



大学の友人と富士山に登りました

ある日のスケジュール

6:30	起床
8:10	出勤
8:30	メール確認、作業依頼対応
10:30	班内打合せ
12:00	休憩・昼食
13:00	資料作成
14:30	農政局との打合せ
18:00	退勤
19:00	帰宅・夕食・趣味
23:00	就寝

通勤時間は芸人さんのラジオを聞いて気合いを入れています！

同期と一緒にお昼ご飯を食べることもあり、よりフレッシュになっています

なるべく自炊するようにしています
料理のレパートリー増やしたいです

仕事の内容・役割、やりがい

農業に欠かせない農業水利施設は、老朽化が進行し、気候変動の影響による自然災害リスクも高まる中で、その機能を持続的に保全していくための適切な保全管理が課題となっています。

私は、農業水利施設の管理に関する業務を担当し、土地改良区等の施設管理者に対して、近年の維持管理形態の変化や気候変動を踏まえた支援ができるよう、関係する事業制度の見直しなどに取り組んでいます。農家や土地改良区の方々から感謝の声をいただくこともあり、自分の仕事が農業を支えていることを実感できる点に大きなやりがいを感じています。

週末の過ごし方

休日は、美術館や博物館を訪れたり、寮の同期と出かけたりして過ごすことが多いです。電車でのアクセスが良いため、金曜日の仕事終わりにそのまま箱根へ向かい、温泉を満喫することもあり、楽しく過ごしています。

ある日のスケジュール

6:20	起床・朝食
8:15	出勤
8:30	メール確認、事務手続き対応
9:30	資料作成、上司に相談、業務内容の勉強等
12:00	休憩
13:00	資料作成、打合せ
15:00	データ分析、資料整理
18:30	退勤
19:30	帰宅、夕食、趣味
24:00	就寝

寮の同期とディズニーランドに行きました！



平日の夜に時間があれば、ゲームをしています

本省係員



三村 雪乃 (R7入省)
整備部 水資源課

Q8.就職活動を振り返って

- 何回も説明会に参加することや面接対策をすることが重要だと思います。
- 農水省のインターンシップに参加し、職場の雰囲気を掴むとともに自分のやりたいことを見つけることをお勧めします。
- 農水省に入りたいという思いと、入省して何をしたいのかを考えておくといいです。
- 農水省で働きたいという思いを強く持つことが一番大事だと思います。
- 大学の先生や先輩職員など、いろいろな人と相談すると良いです。



同期で集まって飲み会

Q9.学生の皆さんへ一言

- 農林水産省は、優しく非常に能力の高い方々が多く、成長できる職場です。
- 大学で培った専門知識を存分に活かしながら社会に貢献できる職場です。
- 就職活動は大変なことも多々ありますが、身体と心を壊さず、たまには自分にご褒美をあげながら頑張ってください。



農研機構での研修の様子



自動操舵トラクタ走行試験の様子
ほ場の施工データを搭載して自動走行させました！



(左) 休日は富良野でスノボ！
(右) 同期と宮古島旅行！

2

稲葉 吉彦 (R6年入省)

国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部
岩見沢農業事務所 第3工事課

大規模農地整備で、地域の未来をつくる

大区画化などの農地整備を通じてスマート農業に対応し、
地域農業のさらなる発展を目指しています。

仕事の内容・役割、やりがい

農業を強く、さらに前へ

私が担当している国営緊急農地再編整備事業「岩見沢北村地区」は、北海道中西部の岩見沢市に位置し、石狩川とその支川沿いに広がる水田地帯です。水稻を中心に、小麦や大豆、はくさいなどを組み合わせた農業が展開され、日本の食料生産を支える重要な地域の一つとなっています。

耕作放棄地の発生防止や生産コストの低減等を図るため、約1,400haに及ぶ広大な農地で、大区画化、用排水の管路化、ターン農道の設置など、スマート農業の導入も見据えた基盤整備を進めています。

私は、工事の設計、発注、監督業務等を担当し、現場に足を運び、地元・関係機関の方々との調整を行っています。施設が形となって完成していく様子を見ると、大きな達成感とともに、地域の将来につながる仕事だと実感します。

印象に残っているエピソード

地域の農業のために協力！

近隣で農地整備事業を行う自治体担当者と交流し、互いの現場を見学しながら意見交換しています。課題や工夫を共有し、よりよい地域農業の実現に向けて連携しています。

農業の基盤整備は、営農の効率化だけではなく、地域の持続的な発展を支える重要な仕事です。多くの人と協力しながら地域農業を支えていることに、大きなやりがいを感じています。

学生の皆さんへのメッセージ

常に好奇心が刺激される仕事です！

農林水産省は皆さんが培ってきた経験や知識を最大限に発揮できる職場だと思います。本省、地方、現場、さらには海外など、多様な活躍の場があり、仕事そのものだけではなく、地域での暮らしや人との関わりを通じて視野が広がっていく点も大きな魅力です。

国営事業所での勤務は、専門的な業務に取り組みながらも日々新しい発見があります。常に新しい学びがあり、好奇心を持ち続けられる環境だと感じています。

アフター5や休日の過ごし方

スポーツや旅行でリフレッシュ！

仕事終わりには、事務所の若手でバスケをしたり温泉に行ったりとリフレッシュしています。職場のバスケ大会が毎年開催されており、それに向けて楽しく練習しています。

休日は、北海道内のドライブや同僚との登山を楽しみ、全国各地にいる同期の配属先に遊びに行くこともあります。赴任1年目には東北のねぶた祭や竿燈まつり、宮古島にも足を運びました。

また、赴任した冬からスノボを始め、休日はもちろん、仕事終わりにナイターで滑りに行くこともあり、北海道ならではの暮らしを満喫しています。

経歴

- 令和6年4月 農林水産省入省
農村振興局 設計課
- 令和7年4月 現職

ある日のスケジュール

- 7:00 起床・朝食
- 8:00 出勤
- 8:30 メール確認・事務作業
- 9:30 次年度発注工事の設計書作成
- 10:30 関係機関（道や市など）との打合せ
- 12:00 休憩
- 13:00 工事現場の立会
- 14:00 工事現場で発生した課題について業者と打合せ
- 16:00 工事関係の資料整理
- 18:00 退勤
- バスケ
- 21:00 帰宅・夕食
- 23:30 就寝

冬は車で、それ以外は自転車で通勤しています！

大会に向けて練習は真剣です！



3

寺内 直人 (H31年入省)

農村振興局 整備部 設計課 施工企画調整室 設計基準班



事業説明の様子(事業所在籍時)

地元の小学生に、なぜ事業が必要なのか説明しました！



休日は家族でお出かけ

クリスマスにイルミネーションを見に行きました！

農業農村の未来を担える喜び

農業農村の未来を見据え、その基盤を支える土地改良事業の設計基準を適切に制改定します。

仕事の内容・役割、やりがい

土地改良事業における設計基準類の制改定等を担当

私は、農業水利施設の設計を行う際に遵守しなければならない事項などをまとめた設計基準類の改定や新規制定を担当しています。農業農村を取り巻く情勢の変化や技術の進展を踏まえ、今後の農業水利施設の設計のあるべき形を考えながら取り組んでいます。農村振興局ではキャリアの中で実際に現場を見る機会も多く、制改定に携わった設計基準類を元に事業が進んでいく様子を見ることで、自らの仕事が我が国の農業農村に与えるインパクトを肌で感じることができます。

印象に残っているエピソード

活躍のステージは農業農村工学分野に留まりません！

私は農業農村工学系で入省していますが、現部署の前はバイオマス資源の活用推進を担当する部署に在籍していました。その部署への異動が決まった際は、「バイオマスって何？」状態でしたが、自分の全く知らない分野での仕事は毎日が勉強の連続で刺激も大きく、自分の成長を実感できた2年間でした。

学生の皆さんへのメッセージ

一緒に刺激的な日々を過ごしませんか？

私が農林水産省の魅力の一つお伝えするとすれば、「仕事に飽きる」ということがない職場だという点です。1～3年ぐらいのスパンで異動があり、その度に業務内容も立場も変わります。特に農業農村工学系は、地方への異動の機会もあり、全国に第2、第3の故郷が増えていきます。もちろん公私とも変化に対応していくのは大変な面もありますが、それ以上に刺激にあふれる日々に対する充実感が大きいのです！

休日の過ごし方

家族との団らんや、スポーツでエネルギーチャージ

休みの日は自宅ですべてと遊んだり、家族でお出かけをすることが多いです。また、社会人になってから始めたゴルフも趣味の一つで、自然の中で思いっきり体を動かすことはとても良いリフレッシュになります。オンとオフをしっかり切り替えて、仕事に向けてのエネルギーをチャージします！

経歴

- 平成31年4月 農林水産省入省
農村振興局 防災課 災害対策室
- 令和2年4月 東海農政局 矢作川総合第二期農地防災事業所
- 令和4年4月 大臣官房 環境バイオマス政策課
- 令和6年4月 現職

ある日のスケジュール

- 7:30 起床・朝食
- 9:20 出勤
- 9:30 メールの確認
- 10:00 予算要求についての資料作成
- 12:00 省内の食堂で同期と昼食
- 13:00 設計基準の改定について有識者とオンラインで打合せ
- 15:00 打合せ内容を踏まえ資料を作成
- 19:00 退勤
- 20:00 ジムでトレーニング
- 21:00 帰宅
- 21:30 夕食
- 24:00 就寝

朝は息子と触れ合い、1日の元気をチャージしてから出勤！

運動と睡眠の時間は意識して確保します！肉体の強化対策です！



4

増田 重明 (H29年入省)

在ラオス日本国大使館 二等書記官



外交最前線の実体験: 国際会議での挨拶

UPOV条約に係るワークショップで共同議長として開会の挨拶をしました。



国別対抗テニスカップ!

とても盛り上がった大会でした!

外交の最前線で挑戦する

国際社会の最前線で、日本代表として挑戦
多様な経験を通じて、自らの可能性を広げられます。

仕事の内容・役割、やりがい

日本の外交官としてラオスの発展を支援

世界各地の在外公館では、情報収集、日本文化の発信、邦人保護、日本企業支援、政府開発援助（ODA）など多岐にわたる外交活動を行っています。

私は、農業・環境、労働・社会福祉分野のODAを担当し、食糧援助、洪水・渇水、水質管理の技術支援、避難所建設などの企画・調整、食産業の海外展開支援や相手国政府との交渉に携わっています。昨年11月に愛子内親王殿下がラオスを御訪問された際には、受入業務にも従事しました。

農水分野にとどまらない業務は非常にタフですが、その分挑戦しがいを感じています。

印象に残っているエピソード

国と国との交渉

国境をまたぐ環境汚染への対策について、国際機関、各国政府、ドナー国が協議する場に参加する機会がありました。多くの国が陸で国境を接する中、資源管理や環境保護には国境を越えた複数国の繊細な調整が不可欠です。各国政府や国際機関が真剣に議論を重ねる姿を目の当たりにし、国際社会のダイナミズムを実感しました。

学生の皆さんへのメッセージ

活躍の場は世界にも広がっています!

食料生産が社会を支えているのは世界共通です。農水省職員は、農業・食料という専門性を持って交渉・支援に携わることができ、技術的な知見を生かした実効性のある支援を行っています。

海外勤務には、慣れない土地での苦労もありますが、それ以上に多くの学びや刺激があります。世界を舞台に力を発揮することも、農水省で働く大きな魅力の一つです。

海外での生活

異国の地での新たな出会い

ラオスは「東南アジアの最後の秘境」ともいわれる国で、日本からの直行便はなく、在留邦人も約700名と多くはありません。それでも生活に不便はなく、快適に暮らせます。

妻も農水省の職員で、同行者休業制度を利用して一緒に赴任しています。普段は在留邦人向け情報誌の発行等に携わり、週末には在留邦人や現地、さまざまな国籍の方とテニスを楽しんでいます。日系企業、国際機関、JICA、他国大使館職員など、多様な人々と交流できることも海外勤務の魅力です。

経歴

- 平成29年4月 農林水産省入省
農村振興局 農地資源課
- 平成30年4月 国土交通省 北海道開発局 旭川農業事務所
- 令和3年4月 農林振興局 設計課 係長
- 令和4年4月 農林振興局 水資源課 係長
- 令和7年3月 現職

ある日のスケジュール

- 7:00 起床・朝食
- 8:00 出勤・メールの確認
- 10:00 政府・ドナー国との会合に出席
- 12:00 会合出席者とのランチ
- 14:00 日系企業との面談
- 16:00 JICA・JETROとの定例会議
- 18:00 定時・帰宅
- 20:00 語学勉強
- 23:00 就寝

突発業務は少なく、
安定したワークライフバランス!

英語が基本なので日々研鑽



5

横田 木綿

(H29年入省)

関東農政局 土地改良技術事務所 企画情報課長



県や市の担当者と一緒に現地調査

渇水の影響で取水できなくなったため池を関係者と一緒に調査して今後の方針を相談中。



プライベートを満喫する様子

休日はあちこち旅行に行っています！
左は北海道のワイナリー、右はスリランカ大使館に赴任中の先輩に会いに行ったときの写真です。

農業・農村を支える、その最前線へ

政策を実行する「現場」の立場から
「食」ひいては「国」の礎である農業・農村を下支えします。

仕事の内容・役割、やりがい

「現場」の立場から農業・農村を下支え

土地改良技術事務所では、農業農村整備事業が効率的・効果的に行われるよう、国営事業所、都府県、市町村、土地改良区等に対して専門的な技術支援を行っています。

私が所属する企画情報課では、事務所の窓口として所掌業務の企画立案・連絡調整を担うほか、工事発注等に使用するシステムの管理や職員の人材育成等を行っています。

また、同じ事務所の防災・災害対策技術課に在籍していた際は、関係機関への災害応急用ポンプの貸出し、訓練の実施、システムの運用・開発など防災・減災に関する技術支援に携わりました。令和7年夏には、渇水により営農への支障が懸念された地域で用水供給支援を行いました。「無事にお米が収穫できた。助かった。」とのお言葉をいただき、自分の仕事が農業を支えていることを実感し、やりがいを感じました。

印象に残っているエピソード

災害発生時に官邸へ緊急参集！！

本省防災課の係長時代は、災害発生時の緊急対応を担当していました。発災時には緊急参集チームのリエゾンとして官邸の危機管理センターに参集し、農水本省との連絡調整に従事しました。官邸で関係省庁幹部が集まる緊迫した会議に立ち会い、国家規模の危機対応を学ぶ貴重な機会となりました。

学生の皆さんへのメッセージ

私が思う農林水産省の仕事の魅力をお伝えします！

現場では、直面する課題をどう解決していくか、関係者の方々と一緒に考えることができます。本省では政策を立案し、現場ではその政策を活用して現場の課題に向き合う。こうした仕事の幅広さと多様な経験ができることは、農林水産省職員として働く大きな魅力の一つだと思います。

仕事とプライベートの両立

年休を活用してあちこち旅行しています！

旅行が趣味で、休日はよく各地を訪れています。通常の土日休みに1日年休を追加して北海道や九州に2泊3日の旅行に出かけたり、まとまったお休みがとれたときは海外旅行も楽しんでいます。現在は同期が各国の大使館等に赴任しているため、この機会を活かして訪ねてみたいと思います。

経歴

- 平成29年4月 農林水産省入省
農村振興局 農地資源課 多面的機能支払推進室 係員
- 平成30年4月 関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所 係員
- 令和2年4月 農村振興局 水資源課 係員
- 令和3年4月 農村振興局 防災課 防災・減災対策室 係長
- 令和5年4月 農村振興局 設計課 施工企画調整室 係長
- 令和6年4月 農村振興局 水資源課 係長
- 令和7年4月 関東農政局 土地改良技術事務所
防災・災害対策技術課長
- 令和7年11月 現職（執筆時）

ある日のスケジュール

- 6:00 起床・朝食・準備
- 8:30 出勤・1日の作業内容の確認・メールチェックなど
- 10:00 システム開発に係る本省及び受注業者との定例会
- 12:00 お昼休憩
- 13:00 業務発注前の所内審査会
- 15:00 人材育成のための研修計画について所内で打合せ
- 16:00 打合せを踏まえて研修ガイドを作成
- 18:30 退勤
- 19:30 帰宅・夕食・のんびりタイム
- 23:00 就寝

健康のためできるだけ自炊するようにしています！



6

鈴木 大地 (H21年入省)

農村振興局 整備部 防災課 海岸・防災計画班 課長補佐



地方農政局との打合せの様子

防災事業の計画について、地方農政局等と綿密な打合せを行います！



転勤先を満喫する様子

家族で赴任地の自然、旅行を楽しんでいます！
(オランダ赴任時のキューケンホフ公園)

災害から農地を守る！

農地を保全する海岸整備を進めるとともに、地域の将来を見据えた防災事業の計画を策定し、災害から農地を守っています。

仕事の内容・役割、やりがい

地域の意向・要望を把握し、農村の災害を未然に防止する！

我が国は災害が起きやすい国土で、令和元年東日本台風、令和6年能登半島地震など、毎年のように各地で大規模な災害が発生しています。また、気候変動による海面水位の上昇、激甚化・頻発化する豪雨災害に加え、南海トラフ地震といった巨大地震の発生が切迫しており、災害リスクが一層高まっています。

このため、気候変動を踏まえた海岸堤防の整備を進めることや、地域の将来を見据えた防災事業の計画を策定し、事業を実施することにより、農地の災害を未然に防止しています。実際に現地を視察し、地元の方々の話を聞きつつ、海岸事業の実施や防災事業計画の策定を行う仕事は、農村地域の防災に多大な影響・効果を生み出すことから、大きな責任とやりがいを感じています。

印象に残っているエピソード

地元との対話を通じて、地域の課題を解決していく！

前職では、国で造成した施設の管理方法等について長年の課題になっていました。地元関係者（県、関係市町村、関係土地改良区、水利組合）に対し、国の方針を提案し、粘り強く説明・対話を繰り返すことにより、最終的に関係農家6,000人以上から同意を得て、課題を解決することができました。

学生の皆さんへメッセージ

農業・農村の課題を一緒に解決していきましょう！

昨年、農政の憲法とされる食料・農業・農村基本法が、制定から四半世紀を経て、初めて改正されました。この基本法の改正の中で、農業生産基盤の「整備」に加え、「保全」が規定され、農業農村整備にとって大きな転換機となっています。農業水利施設の老朽化、気候変動や人口減少など農業・農村を取り巻く課題は多くありますが、課題解決には皆さんの柔軟な考えが必要です。ぜひ一緒に課題を解決していきましょう！

地方(国外)勤務を思い出に

異文化の地での人とのつながりは貴重な経験！

これまで地方では、沖縄県の伊江村、徳島県の板野町、国外ではオランダのデン・ハーグに各3年間勤務していました。休日は、同僚や現地の方とマラソン、フットサル、ソフトボール、テニス等のスポーツを楽しんできました。沖縄では妻と生まれたばかりの長女と暮らし、オランダでは長男も含めて家族4人で暮らし、徳島では単身赴任と生活形態を変えてきました。初めての場所での生活は戸惑うこともあります。そこで出会った方々とのつながり、異文化は、私にとっても家族にとっても貴重な経験・思い出となっています。

経歴

- 平成21年4月 農林水産省入省
農村振興局 設計課 計画調整室
- 平成22年4月 沖縄総合事務局 伊江農業水利事業所 調査設計課
- 平成25年4月 農村振興局 設計課 係長
- 平成27年4月 農村振興局 中山間地域振興課（現：地域振興課）係長
- 平成30年3月 外務省 在オランダ日本国大使館 二等書記官
- 令和3年4月 中国四国農政局 四国東部農地防災事務所 課長
- 令和6年4月 現職

ある日のスケジュール

- 6:00 起床・朝食
- 8:15 出勤、メールチェック
- 9:30 班内打合せ（係長への作業指示）
- 10:00 農政局との打合せ
- 11:30 係長が作成した資料の確認
- 12:00 昼食
- 13:00 海岸関係者（国土交通省、水産庁）との課長補佐会議
- 18:30 退庁
- 20:00 帰宅・夕食
- 23:30 就寝

朝は早めに家を出て、始発電車に座って通勤しています！

省内の食堂の他、他省庁の食堂にも行きます！

長男が早く寝てしまうので、間に合うように帰って、できる限り家族と夕食をとり、その後、筋トレに励んでいます！

他部局（経営局）



7 | 齊藤 正悟 (R3入省)

経営局 農地政策課 経営専門職

経歴

- 令和3年4月 農林水産省入省
農地資源課
- 令和4年4月 中国四国農政局
南周防農地整備事業所
工事第二課
- 令和6年4月 現職

仕事の内容・役割、やりがい

担い手への農地の集積・集約化を促進

各都道府県に一つ設置されている農地中間管理機構は、農地を貸したい人から農地を借受け、耕作を希望する担い手にまとまりのある形で農地を貸し付ける農地中間管理事業を行い、担い手への農地集積・集約化を促進しています。

私は、農地中間管理事業の円滑な実施に向け、各都道府県や機構にヒアリングや調査を実施して、現場や機構の業務実態等を把握し、制度の見直しを行っています。現場の実情を踏まえた制度設計に難しさを感じながらもやりがいを感じています。

経営局で勤務してみた

農業工学系の職員として感じたこと

農地政策課では、農地法などの農地制度全般を担当しており、これまでの業務内容とは大きく異なる分野に、毎日が勉強です。課内で唯一の農業工学系職員として、知識を周りから求められることもあり、その際は、今までの経験や知識を発揮し、自分の強みを生かすことができます。また、他部局に出ることで、幅広い視野・知見を獲得することができるかと実感しています。

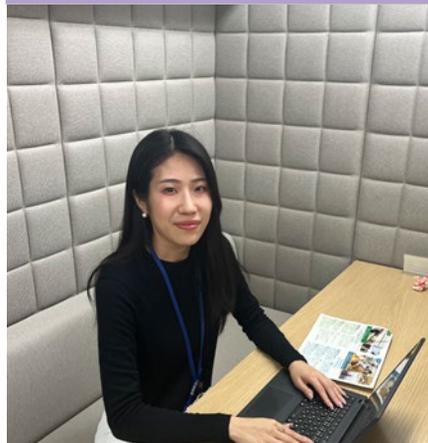
ある日のスケジュール

- 7:30 起床・朝食 **毎朝のリンゴとコーヒーは欠かせません！**
- 9:00 出勤
- 9:30 メール、作業内容の確認
- 10:00 調査実施に向けた打合せ
- 12:00 昼食
- 13:30 業者との打合せ（委託業務）
- 14:30 業務の整理・事務作業
- 18:30 退勤
- 19:30 同僚と夕食・サ活
- 22:00 帰宅 **仕事後は同僚とサウナ！整ってリフレッシュ！**
- 23:30 就寝



休日も温泉やサウナに通ってます！

他省庁（外務省）



8 | 戸田 茉優 (R3入省)

外務省 国際協力局
地球規模課題総括課 外務事務官

経歴

- 令和3年4月 農林水産省入省
水資源課
- 令和4年4月 東北農政局
和賀中央農業水利事業所
工事第一課
- 令和6年4月 現職

仕事の内容・役割、やりがい

国際機関を通じた開発協力

国際協力局地球規模課題総括課は、国際機関やODAの枠組みを通じて、気候変動などの人類が共通して直面する課題の解決やSDGsの達成に向けて取り組んでいます。私は途上国の農業開発や産業開発を専門に行う国際機関の担当で、在外公館の担当書記官とやり取りしながら、国際機関の会合における日本の発言を考えたり、国際機関を通じた開発プロジェクトの管理などを行っています。国際機関のプロジェクトでは、途上国の農村インフラや灌漑整備などを実施しており、農業土木が、女性の雇用機会創出や貧困削減といった世界各地の課題解決に寄与していることを実感しています。

外務省で勤務してみた

農林水産省との文化の違い

外務省では世界各地の在外公館とのやり取りがあるのですが、時差はもちろんのこと、休日や祝日も国によって異なるため、時差や勤務日を考慮して業務の段取りを行う必要があります。また、外務省職員は、英語の他に専門言語を習得しており、言語によってなじみのある文化が異なるほか、他省庁や他団体からの出向者も多く、様々なバックグラウンドの方が集まっています。スタイルは様々ですが、組織の一員として、チームで協力して仕事をするという姿勢は農水省と変わりません。

ある日のスケジュール

- 7:20 起床 **通勤時は毎日読書をしています。**
- 8:30 通勤
- 9:30 業務開始
- 10:00 メール・作業依頼の確認
- 12:30 近場でランチ
- 13:30 国際機関の会合準備
- 16:00 在外公館に作業依頼
- 18:00 在外公館との打合せ
- 19:00 退勤
- 20:00 同期と食事 **退勤後は同期と食事に行くことも多いです。**
- 23:30 就寝



昼休憩ではよく外でランチします！
エスニックの頻度が高め！

大瀧村・株式会社フェイガー 包括連携協定締結式



バックライス工場の落成式に出席
米の六次産業化であり、防災備蓄や生活様式の変化等により需要が伸びています。



農業用幹線排水路でのローイング大会に出場
村役場の女性職員チームに参加。土地改良区が水位の調整に協力してくださっています。

9 小澤 菜穂子 (H25年入省)
秋田県 大瀧村 副村長

地域と向き合い、政策を実現する

副村長として幅広い業務に携わり、政策の実効性を高める

仕事の内容・役割、やりがい

新しい発見と、これまでの知見

副村長として、農業土木や農業分野にとどまらず、消防の広域化やごみ処理の広域化など、幅広い自治体行政に携わっています。これらの分野はまだ勉強中ですが、将来国家公務員に戻った際にも生かせる貴重な経験を積ませていただいていると感じています。

一方で、体育館の改築やこども家庭センターの設置に伴う改築工事などの発注業務、設計変更や契約変更については、分野は異なるものの、これまで農業工学職として土地改良事業の工事に携わってきた経験や知識が役立っていると実感しています。

出向先でのエピソード

国営事業に携わった先輩技官の偉大さを実感

大瀧村は、農林省が実施した国営八郎瀧干拓事業によって誕生した村で、海拔より低い位置にあります。近年は異常豪雨で近隣市町村に浸水被害が発生していますが、大瀧村の堤防が越水することはありません。

村の方から「パソコンもAIもない60年以上前に、当時の農林省の人がきちんと計算してくれていたんだね」と声をいただきました。その言葉に先輩技官の仕事に誇りに感じ、私たちも将来に誇れる仕事をしようと背筋が伸びました。

学生の皆さんへのメッセージ

施策の川上から川下までを経験するチャンス

地方自治体への出向は、国で検討された施策が現場でどのように効果を発揮しているのか、あるいは思うように機能していないかを直接見るができる貴重な機会です。

また、農業分野においても、国では各課室や班ごとに分かれている業務を横断的に経験でき、裁量も広がります。難しさはありますが、その分達成感と自信につながります。

出向先での生活

サークル活動に水上スポーツ

3千人弱の村ですが、書道、野鳥観察、フラダンスなどサークル活動が盛んで、私も短歌サークルに参加しています。

また、村には農業用幹線排水路を活用したローイング（ボート競技の一種）や水上スキーのコースが設置されており、こうしたスポーツも盛んです。私も村役場の女性職員チームの一員として、村のサマーレガッタ（ローイングの大会）に出場しました。

経歴

- 平成25年4月 農林水産省入省
農村振興局 水資源課
- 平成26年4月 東北農政局 米沢平野農業水利事業所
- 平成28年4月 経営局 農地政策課 経営専門職
- 平成30年4月 農村振興局 土地改良企画課 係長
- 令和元年12月 JICAラオス事務所
- 令和5年4月 国土交通省 北海道開発局 旭川農業事務所 課長
- 令和7年4月 現職

ある日のスケジュール

- 6:30 起床・朝食
- 8:30 出勤・メールの確認・決裁（紙・電子）の処理
- 9:00 消防広域化に関する会議に向けて出発
- 12:00 帰庁・農家レストランで地場野菜カレーランチ
- 13:00 ごみ処理広域化に関する会議に向けて出発
- 16:00 帰庁・村内農業者団体の来訪
- 17:00 メールの確認・決裁（紙・電子）の処理
- 17:15 退勤
- 17:30 農業用幹線排水路でローイングの練習
- 19:00 帰庁・入浴・夕食・家事・翌日の準備
- 23:00 就寝





施設の説明をする様子
地元の小学生に施設の説明をしています



休日はパンづくりに挑戦
カルチャースクールで米粉パン作りを体験！

10

佐藤 正一 (令和3年経験者採用)

北陸農政局 新川流域農業水利事業所 調査設計課長

これまでの経験を、国の仕事に生かす

民間・自治体で培った経験を、政策の立案・実行へ

仕事の内容・役割、やりがい

「現場」の立場から農業・農村を下支え

新潟県新潟市の新川流域二期地区では、これまで数次にわたる国営土地改良事業等により基幹的な農業用排水施設が整備されてきました。しかし、造成後50年以上が経過し、老朽化が進んでいます。本地区では、老朽化した施設の改修に加え、大規模地震に備えた耐震化対策を実施し、排水機能の維持と維持管理費の軽減を図っています。

私は、事業の実施に必要な県、市村、土地改良区等の関係機関との協議・調整のほか、必要な予算の確保や管理、教育機関等へのPR活動などを担当しています。

収穫期に秋風に揺れ黄金色に輝く稲穂を前にすると、先人たちが整備してきた施設が一年を通じてこの地を支えてきたことを実感し、深い感謝の思いが込み上げてきます。

これまでの経歴と転職のきっかけ

前職では農機具メーカーの関連会社で農地整備工事に携わっていました。これまでの人生を振り返る中で、農林水産省の職員と一緒に東日本大震災の復興事業に一心不乱で取り組んだ経験が強く心に残っていました。

第二の人生では多くの人の役に立ち、夢中になれる仕事に挑戦したいという想いから、農林水産省を志望しました。

前職の経験がどのように活かされているか

情報化施工、乾田直播、無代掻き移植など、前職で培った知識は現在の業務に生かされています。一方で行政機関特有の仕事の進め方や独特の視点には戸惑いもありましたが、上司や周囲の方々に素直に相談することで、丁寧な指導を受けながら円滑に業務を進めることができました。

仕事とプライベートの両立

全国転勤中での介護

家族は妻との二人暮らしですが、遠方に施設と病院を行き来する高齢の父がいます。全国転勤中、妻と親戚の理解と協力を得ながら介護に向かっています。

病院の入院や施設入所時の対応、施設のリモート面会を行う際は短期介護休暇制度を時間単位で活用出来るなどワークライフバランスに配慮した職場環境であることを実感しています。また、介護に携わる事業所の方々の話や省内web勉強会に参加した際のアドバイスが役立っています。

経歴

- 令和3年4月 農林水産省入省（経験者採用）
農村振興局 設計課 係長
- 平成4年4月 農村振興局 水資源課 係長
- 令和6年4月 北陸農政局 新川流域農業水利事業所 工事課長
- 令和6年9月 現職

ある日のスケジュール

- 7:00 起床、体操、朝食
- 8:30 ゴミ捨て、出勤、メールの確認
- 10:00 関係機関（改良区）との打合せ 元気な親の姿が見れて安心しています
- 12:00 昼食
- 13:00 介護施設の父とのリモート面会（短期介護休暇活用）
- 14:00 環境モニタリングに関するWEB打合せ
- 16:30 事業の課題に関する事業所長との打合せ
- 18:15 退勤
- 18:30 夕食のおつかい 家事は自分が得意なものだけやっています！
- 19:30 帰宅、浴槽掃除、夕食
- 22:00 就寝

先輩職員からのメッセージ

様々な業務を担当します

本省、地方農政局、環境省で、農業農村整備事業のほか、都市農村交流等の地域活性化、希少野生動植物の保護等を担当してきました。いろいろな業務を担当するなかで、過去の経験をいかせることも多いです。地方農政局勤務の際は、その土地ならではの暮らしを送れることも楽しいです。

いろいろな方と協力して業務を進めます

農業農村工学分野の仕事の魅力は、農地や農業用水などの農業資源の確保と有効利用のために、職場の方々だけでなく、都道府県、市町村、土地改良区、研究機関、関係団体など多くの方と協力し合って業務を進めることだと思っています。業務を通じて動物園や旅行会社の方々など、農業とは違う分野の方と知り合えたのも良い経験になっています。

仕事と子育てについて

仕事で培われた能力（事務処理能力、調整能力、コミュニケーション能力など）は家事・育児・介護にもいかせるし、その逆もまた然りではないかと考えています。特に、子育てはスケジュール管理能力が鍛えられます！



農村振興局 整備部 防災課

防災・減災対策室長

11 | 志田 麻由子

略歴

- 平成7年 農林水産省入省
- 平成28年 農村振興局農地資源課課長補佐
- 平成29年 農村振興局水資源課課長補佐
- 平成31年 東海農政局 地域整備課長
- 令和3年 農村振興局 防災課 海岸・防災事業調整官
- 令和4年 農村振興局 地域整備課 福島復旧・復興対策調整官
- 令和6年 現職



ため池の現地調査



ため池関係者との意見交換

子育て中の職員の声



12 | 久保 京子 (H27年入省)

農村振興局 整備部 農地資源課
多面的機能支払推進室 係長

育児との両立のための工夫

多くの助けを借りながら、バランスをキープ

両立と言いながら、実際は家事と育児と仕事の三立が必要なので、三者のバランスを保つことを意識しています。具体的には、子供の迎えは必ず自分が行く（育児）、日々の家事は必要最低限に絞って溜めずにこなす（家事）、残した仕事があれば子供を寝かしつけた後に進める（仕事）といった基準となる自分ルールを決めています。

そうは言っても、個人の工夫には限界があります。難しいと感じた時には迷わず職場の上司や同僚、家族、時には遠方の両親の助けを借りて三立を頑張っています。

これまで利用した制度

産前産後休暇、育児休業、育児時間などを活用

短期間で二度の産休・育休をとりました。復職時に人事担当に働き方の希望を伝え、現在は、希望通り育児時間を活用して短い勤務時間で働いています。円滑なコミュニケーションのため、基本的には出勤し、週1日程度テレワークを活用しています。

経歴

- 平成27年4月 農林水産省 入省
農村振興局 水資源課施設保安全管理室
- 平成28年4月 東北農政局 仙台東土地改良建設事業所
- 平成30年9月 農村振興局 地域振興課 係長
- 令和2年12月 産休・育休
- 令和4年4月 農村振興局 設計課計画調整室 係長
- 令和5年2月 産休・育休
- 令和6年4月 現職

ある日のスケジュール

- 7:00 子供と起床・朝食
- 8:30 子供と保育園登園
- 9:30 出勤（育児時間取得）
- ～
- 17:15 退庁
- 17:50 保育園お迎え
- 18:30 子供と夕食
- 19:00 家族団らん、入浴
- 21:00 子供を寝かしつけ
- 22:00 家事、仕事、趣味等

最近では、子供のご機嫌を優先して一緒に起床。
常に変化し続ける子供に合わせて、スケジュールは臨機応変に！

仕事は、早めに取り掛けるように意識しています。残した仕事は、周りの係長や上司がフォローしてくれることもしばしば。感謝しかありません。

夕食は、作り置きのおかげで時短に。子供と向き合う時間を確保できるように心掛けています！



COLUMBIA | SIPA
SCHOOL OF INTERNATIONAL
AND PUBLIC AFFAIRS

13

小林 洋平 (R2年入省)
コロンビア大学国際公共政策大学院 (R6年度～)



留学先の様子 クラスメイトと集合写真



学校行事の一環として、NBAを観戦。
会場の熱気に終始圧倒されました。



自由の女神像。無料で運行される通勤
通学者用のフェリーからパシヤリ。

留学ではどんなことを学ぶのか

コロンビア大学国際公共政策大学院で、公共政策学（開発実践コース）を専攻し、修士号の取得を目指しています。ミクロ・マクロ経済学や統計学を基礎科目として学びつつ、必修科目に含まれるケーススタディや種々のフレームワークの活用を通じ、分析力や課題解決力の向上に努めています。また、同大学院は、80を超える国・地域から留学生を迎え入れており、授業中の議論やグループワークを通じて実に多様な価値観や考え方に接することができるため、貴重な学びの機会になっていると感じています。

留学は今後の仕事にどう役立つか

語学力や人的ネットワークに加え、海外での学習や生活を通じて得られる国際的な視野は、今後従事する可能性がある国際機関等への出向時に大いに助けになると思います。また、国際業務に限らず、異なる文化や価値観を有する学生等との交流を通じて養われる心構えは、国内業務においても、多様なバックグラウンドを有する方々と仕事を進めていく上で役に立つと思います。

学生の皆さんへのメッセージ

農林水産省で働くことの大きな魅力の一つは、活躍の場が全国各地・世界各地にわたっている点にあると思います。「食」や「環境」という共通テーマのもと、多様なキャリアパスが開かれている中で、皆さんの理想に合致するものがきっと見つかるのではないかと思います。

ともあれ、落単（単位を落とすこと）しないよう、お互い頑張りましょう！

経歴

- 令和2年4月 農林水産省入省
農村振興局 農地資源課
- 令和3年4月 東北農政局 旭川農業水利事業所 工事第一課
- 令和5年10月 東北農政局 旭川農業水利事業所 工事第二課（係長）
- 令和6年2月 農村振興局 設計課 係長
- 令和6年7月 留学

あなたにぴったりの
農業工学系の情報をお届けします！

Follow me!

農業工学系 SNS

農業工学系のSNSをフォローして、学びと将来をもっと身近に。



Instagram

農林水産省農業工学系の
採用情報、業務内容、魅力を発信しています！
農業工学系職員も登場します！

@maff_saiyou_nn

【公式】農林水産省農業工学系 採用担当
Instagramアカウントはこちら

Follow me!



LINE

(公社) 農業農村工学会の公式LINEアカウント
イベント・就職情報、研究室紹介、農業農村整備の歴史
と役割など就職や進路に役立つ情報を配信！

お友だち登録方法

LINE友だち追加メニューより、
右記のQRコードを読み取り、
アカウントを追加してください

Follow me!



facebook

農林水産省農村振興局の公式Facebookページ
農業・農村振興政策や地域の取組などを
写真や動画とともにお届けしています！

農林水産省農村振興局

農林水産省農村振興局公式
Facebookページはこちら

Follow me!



BUZZ MAFF

農水省職員がYoutuberに！
農村振興に関するコンテンツも発信しています！

BUZZ MAFF Channel

農林水産省公式
Youtubeチャンネルはこちら

Follow me!



この資料や採用に関するお問合せ先

農林水産省大臣官房秘書課（農業工学系）

Mail: saiyou_noudo@maff.go.jp Tel: 03-3502-5568

<採用関係HP>

